

ハカルワカル映画会&対談

認められない「死の灰」被曝
長崎・福島・そして……

長崎放送制作ドキュメンタリー

夏空の灰

被爆体験者は何者か？

対談

古川恵子さん × 白石 草さん


(長崎放送記者、「夏空の灰」制作ディレクター)

(ジャーナリスト、OurPlanet-TV代表)

3/1
(日)

- 午後 1:30～3:30
(開場:午後1:00)
- 八王子北野市民センター
京王線「北野駅」より徒歩2分
北野タウンビル8階 ホール
- 参加費:無料



主催:  八王子市民放射能測定室 **ハカル ワカル 広場**

夏空の灰

被爆体験者は何者か？

制作：長崎放送／ディレクター：古川恵子／2024年／48分

広島・長崎。2つの被爆地で、被爆者認定を巡り大きな格差が生まれている。2022年度から運用が始まった新審査基準により、広島では爆心地から約40キロ離れた場所でも「黒い雨」にあった人は被爆者と認められるようになったが、長崎は対象外。被爆地域は南北12キロ・東西7キロと狭い。格差はなぜ生まれているのか？ その問題の核心に「爆撃による直接の被爆は認めるが、100ミリシーベルト以下では被曝の影響はない」とする日本政府の低線量被曝、内部被ばくを認めない姿勢があるのではないのか？ 福島の子ども甲状腺がんの原因は原発事故ではないとする主張の底流にこの考え方があるのではないのか？ 上映に続く対談でこの問題を共に考えたいと思います。



ふるかわ けいこ
古川恵子（長崎放送記者、「夏空の灰」制作ディレクター）

カネミ油症、被爆者を継続取材し、「夏空の灰～被爆体験者は何者か？～」(2024年)などのドキュメンタリー番組を制作。



しろいし はじめ
白石 草（ジャーナリスト、OurPlanet-TV代表）

3.11以降、福島原発事故後の取材に注力。著書に『ルポ チェルノブイリ28年目の子どもたち』（2014年、岩波ブックレット）他。



ご支援をお願いします！

ハカルワカル広場は「311子ども甲状腺がん裁判」の原告支援をしています。原告たちはがんと闘い、被告の東電と闘い、経済的にも困窮しています。どうぞご支援をお願いいたします。ご賛同の方は下記へお振込みください。

銀行名：みずほ銀行八王子支店 口座番号：3160609 口座名：八王子市民放射能測定室311子ども甲状腺がん裁判原告支援金

ハカルワカル広場はボランティアと
維持会員の会費で運営されています。

ハ王子市民放射能測定室
ハカルワカル広場



お電話 問合せ
〒192-0053 東京都八王子市八幡町5-11 八中ビル2F
042-686-0820

HP: <https://hachisoku.org> メール: hachisoku@gmail.com
【開室】火～土曜日:10時～12時

ボランティア、維持会員募集中！

お問い合わせはハカルワカル広場まで

寄付も大歓迎です！ ゆうちょ銀行 00180-8-290904（八王子市民放射能測定室）
他行からの振り込みは 018-0224460（八王子市民放射能測定室）

案内地図



- 徒歩：JR八王子駅（北口）より約20分、京王八王子駅より約23分
- バス：JR八王子駅（6番～10番乗り場のバスならどれでも）、京王八王子駅（主に1番のりば、2,3番も少し）から約8分。「織物組合」下車、バスの進行方向（西八王子方向）に歩いて約1分
- 車：国道20号 八幡町交差点より西八王子方面へ約100m
※駐車場がありませんので近くのコインパーキングをご利用ください